

農業日和

農ク活動を丁寧に

5月に入り、新緑のまぶしい季節になりました。農業科では、この時期に合わせて栽培してきた野菜苗やカーネーションの販売が行われました。ほかにイネや野菜の播種、社川農場で飼育中の牛から子牛が誕生するなど、本格的な「農業日和」を迎えています。校内農業クラブ活動も「環境調査」は農業科6クラス全員で今年度も実施することになりました。1学年のみの実施で、本号では校内農ク活動を取り上げました。落ち着かない社会状況ですが、今やるべきことに、今や丁寧に着実に取り組むことをしよう。

第30号
発行：修明高校農業クラブ
令和3年5月31日

マスク
キャラクター
のうくつく



今年度もタンポポ調査を全員で実施

タンポポ調査ってなあに？

FFJホームページより

日本全国の農業高校生全員が行う全国規模の環境調査です。地域の身近な環境に関する調査を通して自然のシステムを理解し、環境に対する正しい理解と行動力を育てることが目的です。全国規模で調査品目の分布や発生時期を調べ、データを集計します。

FFJ環境調査とは

- 平成12(2000)年度から全国規模で開始
- 全国49都道府県連盟の農業クラブ員全員が主体的に取り組める
- 日本全国の自然環境の変化について知る
- 9ブロックごとに集計



これまでの環境調査

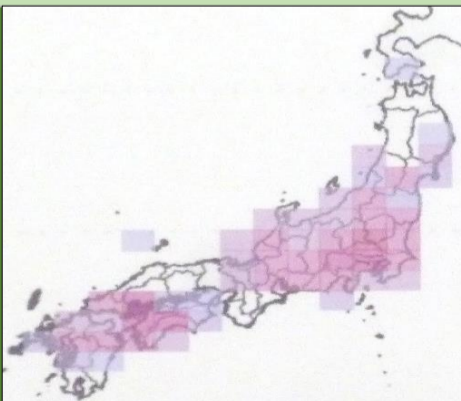
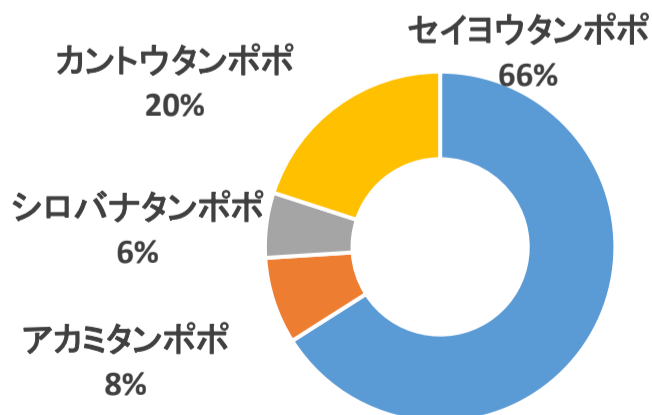
- H12～13年度：タンポポ分布調査
- H14～16年度：セイウアワダチソウ分布調査
- H17～19年度：センダングサ分布調査
- H20～22年度：クマゼミ初鳴き調査
- H23～25年度：ツバメ初飛来調査
- H26～：タンポポ分布調査

↓セイウタンポポ

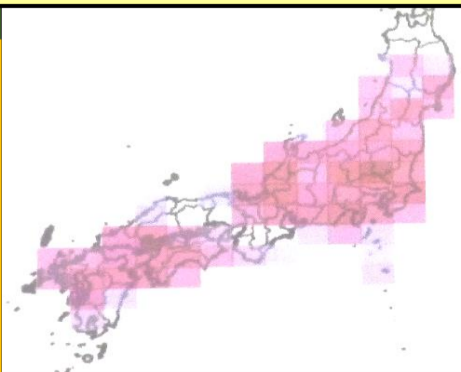
↓シロバナタンポポ



令和2年度の結果



↑シロバナタンポポ(在来種)の分布
↓セイウタンポポ(外来種)の分布



在来タンポポ



内側も外側も総苞は反り返らず、花を包んでいる。

外来タンポポ



外側の総苞が反り返っている。

- 全国の集計結果(まとめ)※全国合計9,071件
- ①繁殖力の強い外来タンポポや雑種が多様な環境下において生育域を徐々に拡大している。
 - ②在来タンポポの生育域が今後順調に拡大していく可能性は高くない。
 - ③一方、現在の在来種の生育割合2割程度(推定)以上を維持できる可能性はある。

農業クラブ総会実施



5月6日(木)に第一体育館にて、「農業クラブ総会」が行われました。

新入生に対し、「農業クラブの活動内容」や「農ク競技大会の説明」、「農クの年間活動内容」などを2・3年生の農ク役員生徒が説明しました。新入生がわかりやすく、活動を少しでも楽しみに感じてもらえるよう工夫し、役員全員で運営しました。

生産流通科 野菜班

子牛が産まれた



雑学~知ってて損はない~

オスの場合名前は漢字で付けられ、牛は、

メスの場合名前はカタカナ・ひらがな

が付けられる。

杜川農場にて育成中の「よしこ」が5月19日(水)に子牛を産みました。子牛の性別はオスで、名前は「富洋」(とみひろ)です。岡部富洋教頭先生の名前からとりました。

生産流通科 畜産班

修明産メロン 順調に生育中！！



7月7日から修明メロン(赤肉種の「レイン」)の販売会が実施されます。毎年好評で完売。地域の方からも「甘くて、おいしい！」とのご意見をいただきました。

昨年度は、専攻生が販売しました。今年度は昨年度より数を増やして販売会をします。

- ・販売した個数: 100個
- ・完売した時間: 20分ほどで完売
- ・品種: レイン

生産流通科 野菜班

八重咲ペチュニア・グロキシニア 培養育成中！



八重咲ペチュニア

グロキシニア



ペチュニアはナス科の植物で、花壇用苗としても人気があり、約400種の種類があります。バイオテクノロジー専攻班が新しい「八重咲ペチュニア」を作出するため薬品処理をしています。

グロキシニアはイワタバコ科の常緑または宿根多年草です。グロキシニアもペチュニア同様にバイオテクノロジー専攻班が薬品処理を行っています。

生産流通科 バイオテクノロジー班

今後の予定

(今後の状況により延期・中止等有)

- 6月9日(水): 意見研究発表県大会@いわき勿来市民会館
- 6月15日(火): 家畜審査競技県大会@福島市
- 6月中に花壇苗の販売会を行います。
- 7月26日(月)~27日(火): 小型車両講習(2-2)
- 7月28日(水)~30日(金): アーク溶接講習(1-2)
- 7月29日(木)~30日(金): ボイラー講習(1-3)